

令和5年度  
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会  
事業報告書

# 目次

I	地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業.....	3
1	地域福祉活動計画の推進.....	4
	(1)第3次地域福祉計画推進・地域福祉活動計画推進事業.....	4
	(2)第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業.....	4
2	小地域福祉活動の推進.....	5
	(1)地区社会福祉協議会活動支援事業.....	5
	(2)福祉委員（小地域福祉活動ネットワーク）活動推進事業.....	7
3	生活支援体制整備事業.....	9
	(1)生活支援体制整備事業.....	9
	(2)安心生活見守り事業.....	15
4	ボランティア活動の振興.....	23
	(1)ボランティアセンター推進事業.....	23
	(2)災害にも強い地域づくり推進事業.....	26
5	福祉教育（ふくし共育）推進事業.....	26
	(1)福祉教育（ふくし共育）推進事業.....	26
	(2)広報充実事業.....	28
	(3)社会福祉士養成課程実習生の受入れ.....	29
6	社会福祉法人の地域活動貢献支援.....	29
7	福祉活動顕彰事業.....	30
	(1)大田原市社会福祉協議会会長表彰.....	30
	(2)その他の表彰.....	30
II	福祉サービスを利用しやすくするための支援事業.....	31
1	総合相談事業の実施.....	31
	(1)心配ごと相談事業.....	31
	(2)福祉金庫貸付事業.....	32
	(3)生活福祉資金貸付事業.....	32
2	生活困窮者自立支援事業.....	33
	(1)生活困窮者自立支援事業.....	33
3	日常生活自立支援事業（あすてらす）.....	34
	(1)日常生活自立支援事業（あすてらす）.....	34
	(2)法人後見事業実施に向けた取り組み.....	34
III	在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～.....	35
1	介護保険サービス.....	35
	(1)訪問介護事業.....	35
	(2)受託訪問介護事業の推進.....	35
2	障害福祉サービス.....	35

(1)障害福祉サービス事業 .....	35
3 その他のサービス .....	36
(1)日常生活用具貸与事業 .....	36
(2)リフト付き自動車貸出事業 .....	36
(3)軽トラック貸出事業 .....	36
(4)福祉サービス適正化事業 .....	36
IV 法人の基盤強化事業 .....	37
1 福祉のまちづくり市民参加運営事業 .....	37
(1)理事会・評議員会の開催 .....	37
(2)会員加入の促進 .....	41
2 基金・寄付事業 .....	41
(1)善意銀行運営事業 .....	41
(2)地域福祉基金造成事業 .....	42
(3)大田原市社会福祉協議会寄附 .....	43
3 栃木県共同募金会大田原市支会 .....	44
(1)赤い羽根共同募金事業 .....	44
4 経営理念の施策の推進について .....	46
5 その他 .....	46
(1)佐良土多目的交流センターの管理 .....	46
(2)印刷機利用サービス事業 .....	46

# 令和5年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

令和5年度、大田原市社会福祉協議会は、次の4つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

(1)「**地域福祉活動計画の策定・推進**」では、第3次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画(令和元年度～令和5年度)の5年目の取り組みとして、地域住民との連携のもと計画を推進しました。推進委員会では第4次計画への提言に関する検討を行いました。第4次計画策定委員会では、推進委員会からの提言を受け、基本施策の検討を実施し、第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画(令和6年度～令和10年度)を策定しました。

(2)「**地区社会福祉協議会への支援**」では、各地区に担当職員を配置し、第2層SCとともに活動の相談や調整などの支援を行いました。令和5年度は、12地区において小地域福祉活動計画推進状況確認のアンケートを実施しました。工夫点や改善点を活動に生かすため、集計結果を第2層協議体で報告しました。

地区社協連絡会は、各地区のリーダーが自分の地区の取組み状況や課題等について他地区と情報交換を行い、互いに高め合い、より良い活動のヒントを得る機会としました。

(3)「**生活困窮者自立支援事業の充実**」では、法律や制度では解決が困難な問題を抱えた方の相談を受け、それぞれの相談者に寄り添い、必要な支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、収入の減少があった世帯を対象とした生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付を利用した世帯に対し、アンケートや電話により、生活状況の継続的な把握を行い、生活に困っている世帯には、償還返済を遅らせる償還猶予申請や生活困窮者自立支援事業につなぐ支援を行いました。

(4)「**介護事業及び障害福祉サービス事業のサービス向上**」では、サービスが必要な方に良質で総合的なサービスが提供できるよう、保健、医療、福祉の関係機関と綿密な連携を図りながら、黒羽、湯津上の山間部を中心に訪問介護事業を行いました。また、障害福祉サービスの向上を図りました。

他の取組としては、法人後見事業実施に向け、準備を進めました。

また、「安心生活見守り事業」で地域ぐるみの見守り活動、「生活支援体制整備事業(ささえ愛おたわら助け合い事業)」、福祉委員による小地域ささえあい活動、日常生活自立支援事業、ボランティア活動の推進、共同募金運動などを実施しました。

## I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

### 1 地域福祉活動計画の推進

#### (1)第3次地域福祉計画推進・地域福祉活動計画推進事業

大田原市とともに進めている第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和元年度～令和5年度）の5年目の取り組みとして、次のとおり実施しました。

##### ①第5回第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催

日 時： 6月26日（月）午後2時30分～4時30分

場 所：市役所南別館 2階会議室

参加者：推進委員 20人

内 容：委員長の選任

経過説明

第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画への提言に関する検討

##### ②第6回第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催

日 時： 11月20日（月）午後1時30分～3時

場 所：市役所南別館 2階会議室

参加者：推進委員 17人

内 容：第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画（案）についての説明

#### (2)第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業

大田原市とともに進めている第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）の策定の取り組みを、次のとおり実施しました。

##### ①第2回第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会の開催

日 時： 7月25日（火）午後2時～4時

場 所：市役所南別館 2階会議室

参加者：策定委員 20人

内 容：委嘱状交付

推進委員会からの提言書提出

第4次計画骨子（案）についての検討

基本施策検討のためのグループワーク

##### ②第3回第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会の開催

日 時： 12月21日（木）午前9時30分～11時30分

場 所：市役所南別館 2階会議室

参加者：策定委員 22人

内 容：第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画（案）の確認

重点施策の検討

## 2 小地域福祉活動の推進

### (1)地区社会福祉協議会活動支援事業

#### ①小地域福祉活動計画の推進

平成 30 年度～令和 3 年度に 12 地区社協で策定した小地域福祉活動計画の推進を支援しました。

令和 5 年度は、12 地区において地区ごとに小地域福祉活動計画の推進状況を見えるようにし、工夫点や改善点を活動に生かすため、推進状況確認のアンケートを実施し、集計結果を第 2 層協議体で報告しました。

実施地区 12 地区

#### ②地区社協連絡会の開催

各地区のリーダーが自分の地区の取組み状況や課題等について他地区と情報交換を行い、互いに高め合い、より良い活動のヒントを得ることをねらいに開催しました。

日 時： 8 月 24 日（木）午後 2 時～4 時 10 分

場 所：市生涯学習センター 研修室 D

参加者：63 人

内 容：「日頃の活動をみんなで共有し、活動のヒントを見つけよう！」

##### (1)他地区との情報交換

- ・地区社協の活動の中で頑張っていること、他地区社協の活動について聞いてみたいこと

##### (2)地区の会議

- ・活動のヒントになったこと、これから取り入れたいこと

#### ③地区社会福祉協議会活動支援

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会员一人当たり 250 円の活動助成金を交付しました。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりです。

##### ○活動助成の内容

地区社会福祉協議会	助成額（円）	活動内容
大田原東部 地区社会福祉協議会	528,250	東部地区小地域福祉活動計画の推進 ふれあい広場、食事サービス 「東部社協だより」の発行
大田原西部 地区社会福祉協議会	631,750	西部地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス（月 4 回）

		あったか広場、「あったかだより」の発行等
紫塚地区社会福祉協議会	278,500	紫塚地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス、視察研修、「むらさきづか社協だより」の発行 等
金田地区社会福祉協議会	653,000	金田地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月2回） 等
親園地区社会福祉協議会	212,000	親園地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、「親園福祉だより」の発行
野崎地区社会福祉協議会	392,500	野崎地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス 「ふくしのまち野崎」の発行 等
佐久山地区社会福祉協議会	157,000	佐久山地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、「佐久山社協だより」の発行、佐久山地区外出支援事業 佐久山ふくし祭りの開催
湯津上地区社会福祉協議会	246,750	湯津上地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、世代間交流事業 地区社協だより「ゆうあい」の発行、ふれあいお楽しみ会、福祉まつり 等
黒羽地区社会福祉協議会	228,000	黒羽地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、研修会 「黒羽地区社協だより」の発行 等
川西地区社会福祉協議会	268,250	川西地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス、買い物ツアー、「川西地区社協だより」の発行、視察研修、ふれあい敬老会の支援
両郷地区社会福祉協議会	124,500	両郷地区小地域福祉活動計画の推進、学校安全パトロール、食事サービス 地区社協だより発行、見守り支援等、ひとり暮らし高齢者会食会

須賀川地区社会福祉協議会	110,150	須賀川地区小地域福祉活動計画の推進、生涯学習推進協議会と連携した世代間交流、食事サービス、視察研修等
合計	3,830,650	

○食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行ないました。配付活動は見守り活動（訪問安否確認）も兼ねています。

物価高騰分を一時金として追加交付しました。

助成総額 4,571,185円：共同募金配分より

No.	助成対象団体	令和5年度実績			前年度
		配食数	対象者数	実施回数	配食数
1	東部地区社会福祉協議会	437	40	12	534
2	西部地区社会福祉協議会	2,028	54	48	1,952
3	紫塚地区社会福祉協議会	2,210	69	37	1,887
4	金田地区社会福祉協議会	612	32	24	495
5	親園地区社会福祉協議会	376	17	24	365
6	野崎地区社会福祉協議会	249	8	48	294
7	佐久山地区社会福祉協議会	1,100	39	34	992
8	湯津上地区社会福祉協議会	831	82	12	643
9	黒羽地区社会福祉協議会	530	59	10	566
10	川西地区社会福祉協議会	496	91	6	476
11	両郷地区社会福祉協議会	385	42	10	391
12	須賀川地区社会福祉協議会	212	27	4	211
13	大田原市ボランティア連絡協議会 黒羽支部	541	106	6	517
	合計	10,007	666	275	9,323

(2)福祉委員（小地域福祉活動ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により170人が活動を行ないました。

小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、見守り対象者を把握し、高齢者等に対する見守り活動や地区社協の食事サービス活動支援等を行ないました。

① 「自治会ささえあいカルテ」の作成

令和5年度は60枚の提出がありました。

② 新任福祉委員研修会の開催

福祉委員の役割を理解し活動できるよう開催しました。

実施日 4月27日（木）午後1時30分～3時

会場 市生涯学習センター研修室D

内容 (1) 社会福祉協議会と支えあいの地域づくり  
 (2) 福祉委員活動について  
 (3) 意見交換「福祉委員活動について感じたこと・不安なこと、  
 地域で気になる人」

参加者 28人（新任福祉委員43人中）

③ 福祉委員・民生委員合同研修会の開催

地域福祉の推進役である福祉委員と身近な相談役である民生委員児童委員が、今の地域福祉課題にふれ、つながり合える支えあいの地域づくりを考えるきっかけとなるように開催しました。

【開催日時】

地区	期日	会場	参加者	
			福祉委員	民生委員
黒羽・川西 両郷・須賀川	6月21日（水） 13：30～15：00	黒羽川西地区公民館	23人	27人
東部・西部 紫塚	7月10日（月） 13：30～15：00	大田原西地区公民館	21人	35人
金田・野崎 親園・佐久山	7月11日（火） 13：30～15：00	金田北地区公民館	21人	35人
湯津上	10月18日（水） 18：30～20：00	湯津上庁舎	7人	5人

テーマ：「見つける・つながる・活かす ご近所同士のささえあい活動  
 ～福祉委員と民生委員の連携～」

内容：(1) 「ささえあいの地域づくりの大切さ」  
 (2) 「ご近所同士の小さなささえあい活動に目を向けよう！」  
 (3) 「福祉委員・民生委員児童委員の連携について見てみよう！  
 聴いてみよう！」

#### (4) 情報交換

##### ④ ささえあいネット通信の発行

ささえあいネット通信を9月と2月に発行し、福祉委員、自治会長、民生委員に配付しました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 生活支援体制整備事業

市からの受託事業である「ささえ愛おたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」は、第2層コーディネーターの配置と、支え合いの地域づくりを進める第2層協議体の取り組みを行っています。

安心生活見守り事業の地区担当主任が第2層生活支援コーディネーターとして委嘱され、12地区ごとに第2層協議体を設置し、運営の支援を行っています。協議体だよりの発行、安心生活見守り事業の活動や地区社協などの、多様な主体と連携して進められるよう地域の実情に合わせた支え合いの地域づくりのための話し合いを進めています。

#### ○第2層協議体活動支援

##### ① 主任・SC 全体会議等

開催日	内 容	参加者数
4月12日	事業方針説明・年間計画	27人
6月7日	情報交換：地域づくり・居場所・第1層との情報交換・交流拠点・移動販売等について	17人
8月2日	「外出支援について」情報提供とグループでの話し合い	20人
10月4日	事例検討会 8050問題の事例で個別支援と地域でできること	22人
11月15日	「茨城県つくばみらい市社協・群馬県安中市社協との交流研修」視察（第2層協議体委員長も参加）	33人
12月6日	「茨城県つくばみらい市視察研修の結果を踏まえ、地域にどう生かせるか」話し合い	19人
2月8日	「小地域福祉活動計画推進と主任・SCの地域とのかかわり」グループで話し合い	22人
2月13日	大田原市安心生活見守り事業推進会議 （見守り事業・生活支援体制整備事業に関して）	48人

## ②ささえ愛の地域づくり研修会

協議体委員を対象に、第2層協議体がより元気になるきっかけづくり、仲間づくりにつながることをねらいとした研修会を開催しました。

- ・日 時 3月14日(木) 午後1時30分～3時40分
- ・場 所 金田北地区公民館
- ・参加者 70人 第2層協議体委員・第2層SC・第1層協議体委員・第1層SC他
- ・講 師 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター  
理事長 池田昌弘氏
- ・内 容 「地域をもっと元気にするカギ  
～住民の自然な支え合いを見つめ直してみよう～」  
講話・地区ごとの話し合い

## ○各地区の状況

### ①東部地区協議体

目指す地域像：

「東部から広がる共助の輪 ～気遣う心 支え合う力 こぼれる笑顔～」

月 日		主な内容	参加人数
6月15日	第1回	協議体会議と東部地区福祉関係諸事業について確認 小地域福祉活動計画推進状況アンケート結果をもとに協議	19人
8月31日	第2回	東部地区における外出支援サービスを考える ・講話「佐久山地区の外出支援サービス」 ・協議「東部地区における外出支援サービスを考える」	23人
11月9日	第3回	東部地区における外出支援サービスを考える ・説明 市の外出支援に関するサービスについて ・協議 東部地区としてできる外出支援とは何か	18人
3月7日	第4回	本年度事業のまとめ、小地域福祉活動計画推進状況確認 シート集計結果の考察	19人

※「ささえ愛の地域づくり」リーフレット（通いの場）作成・全戸配布

### ②西部地区協議体

目指す地域像：「あったかな 笑顔あふれる 西部地区

～いつでも 誰でも 声をかけ愛 つながる和～」

月 日		主な内容	参加人数
6月19日	第1回	令和5年度の事業計画の取り組み、グループ討議	25人
7月31日	第2回	グループ討議（「しくみづくり」「つながりづくり」「きずなづくり」の3グループ）	18人

11月20日	第3回	グループ討議（進捗状況の確認及び今後の取り組み）、全体会議（各グループの情報共有）	24人
1月31日	第4回	グループ討議（事業の取り組みのまとめ）、全体会議（3グループの取り組み内容発表と情報の共有）	29人

### ③紫塚地区協議体

目指す地域像：「つながりと支え合いで、笑顔とあたたかさにあふれる、  
住んでいてほっとする地域 ～ほっとすまいる紫塚～」

月 日		主な内容	参加人数
5月12日	第1回	全体（各グループ取り組み内容説明） グループワーク（グループに分かれて話し合い）	17人
5月31日		リーダー会議（紫塚地区社会福祉協議会への提案に向けた打合せ）	5人
6月1日		紫塚地区社会福祉協議会に4テーマの実行を提案	—
7月14日	第2回	全体（発足からの経緯説明・今後の進め方について）	21人
9月15日	第3回	全体（提案事項の実施状況報告・今後の進め方について）	17人
1月19日		リーダー/サブリーダー会議（今後の進め方について）	10人
3月8日	第4回	全体（次年度計画他）	21人

※リーダー会議は見守り隊チーム会議と合同開催

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配布（年6回）

### ④金田地区協議体

目指す地域像：「手を取り合い 絆深まる 金田の未来」

月 日		主な内容	参加人数
6月29日	第1回	令和5年度協議体役員を選出、研修「あなたはどんな地域に暮らしたいですか？～普通の暮らしの中の地域づくり～」（グループワーク、自分自身について再確認と他者について知ることに繋げる）	28人
8月29日	第2回	具体的な活動のための話し合い（優先的に取り組む項目を5W2Hシートに作成）「人づくり」「絆づくり」「地域・場所づくり」の3つのグループ	24人
11月28日	第3回	ふりかえり、具体的な活動のための話し合い（優先的に取り組む項目についての目的の明確化をグループで共有、グループワーク、全体で共有）	23人
1月30日	第4回	ふりかえり、具体的な活動のための話し合い（優先的に取り組む項目・目的の確認、具体的な活動に向けてグループで話し合い）	24人

※協議体だより発行・全戸配布（年1回）

⑤親園地区協議体

目指す地域像：「ゆかい パワフル 絆のちかその」

月 日		主な内容	参加人数
6月23日	第1回話合	地域課題と対応策の検討	12人
8月25日	第2回話合	地域課題と対応策の検討	12人
10月27日	第3回話合	地域課題と対応策の検討	12人
12月22日	第4回話合	地域課題と対応策の検討、小地域福祉活動計画推進状況確認シート依頼	13人
1月26日	研修会	佐久山・親園ささえ合いの地域づくり合同研修会	42人
2月22日	第5回話合	小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果に基づく話合	14人

※協議体だより発行・全戸配布（年1回）

⑥野崎地区協議体

目指す地域像：①のびのび ②ざわざわ ③きずな和く輪く

月 日		主な内容	参加人数
5月18日	第23回	具合的活動に関する話し合い（「のびのび（安心・安全）」「ざわざわ（活性化）」「きずな和く輪く（人づくり）」の3つのグループ）	29人
6月23日		第1回リーダー会議	6人
7月26日	第24回	具合的活動に関する話し合い（グループワーク）	27人
9月14日		第2回リーダー会議	12人
9月28日	第25回	具合的活動に関する話し合い（グループワーク）	23人
11月24日		第3回リーダー会議	10人
11月30日	第26回	具合的活動に関する話し合い（グループワーク）	21人
1月25日	第27回	具合的活動に関する話し合い（グループワーク）	24人
1月31日		第3グループ話し合い	5人
2月2日		那須烏山市社協視察研修：『助っ人からず』	21人

※協議体だより発行・全戸配布（年2回）

⑦佐久山地区協議体

目指す地域像：「笑顔咲く佐久山」

月 日		主な内容	参加人数
5月10日	第1回	現状把握と課題抽出、人づくり：ボランティア確保のための施策について	19人
9月20日	第2回	現状把握と課題抽出、人づくり：ボランティア確保のための施策について「広報活動の強化」グループワーク	18人

11月22日	第3回	対応策と検討 人づくり：ボランティア確保のための施策について「広報活動の強化」まとめ	23人
12月1日	視察研修	気仙沼市山田地区視察	7人
1月26日	講演会	佐久山・親園ささえ合いの地域づくり合同研修会	42人
2月28日	第4回	対応策と検討 魅力ある地域づくりについてグループワーク	21人

### ⑧湯津上地区協議体

目指す地域像：「LOVE ゆづかみ」

月 日		主な内容	参加人数
6月28日	第1回	後継者育成・知恵袋バンク冊子の活用について居場所活動について	13人
12月21日	第2回	通学路の危険箇所確認、高齢者の交通手段、活動参加者を増やすには	10人
3月15日	第3回	後継者育成・居場所づくり・地域づくり、知恵袋バンクの改正と活用、地域の課題について、小地域福祉活動計画アンケートの報告、委員補選	13人
3月28日	研修	湯津上・黒羽地区協議体視察研修「埼玉県ケアラー支援」	2人

### ⑨黒羽地区協議体

目指す地域像：「ロマン香る 黒羽」

月 日		主な内容	参加人数
6月29日	研修	協議体研修会（特技を活かした地域づくり）	10人
9月12日	研修	地区社協・見守り隊、協議体研修会（防災講座）	46人
12月5日	第1回	スマートフォン教室、地域課題	9人
2月1日	第2回	小地域福祉活動計画推進状況アンケート結果	11人
3月28日	研修	湯津上・黒羽地区協議体視察研修「埼玉県ケアラー支援」	2人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・利用者、隊員配付、班回覧、他（年12回）

### ⑩川西地区協議体

目指す地域像：「おたがいさまで ささえ愛ながら生きていく 川西地区」

月 日		主な内容	参加人数
5月26日	第1回	取り組み報告、決算報告、計画、小地域福祉活動計画	17人
6月23日	研修	あなたの老後を支えるしくみ地域包括ケアシステム	35人

7月28日	自治会	築地・奥沢地区協議体	11人
8月31日	研修	墨田区生活支援体制整備事業のしくみと地域の取り組み 高齢者みまもり相談室と重層的支援体制整備事業の紹介	16人
9月2日	自治会	上町地区協議体	7人
9月3日	自治会	下町1区地区協議体	9人
10月20日	自治会	桜木沢地区協議体	7人
10月22日	自治会	下町2区地区協議体	8人
12月31日	自治会	篠原地区協議体	9人
2月22日	自治会	寒井本郷協議体	8人
2月23日	自治会	寒井北部協議体	16人
3月2～3日	研修	全国若者まちづくりサミット研修（東京）	3人
3月8日	第2回	取り組み報告、計画、小地域福祉活動計画アンケート結果	—
3月28日	研修	湯津上・黒羽地区協議体視察研修「埼玉県ケアラー支援」	2人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配布、他（年12回）

#### ①両郷地区協議体

目指す地域像：「やさしさいっぱい やすらぎの両郷」

月日		主な内容	参加人数
6月13日	第1回	郷郷カフェ参加者と交流会	20人
8月30日	第2回	芸術文化研究所での話し合い	17人
11月29日	第3回	デマンド体験買物ツアーの振り返り	16人
1月30日	第4回	小地域福祉活動計画推進状況の話し合い	11人
3月28日	研修	湯津上・黒羽地区協議体視察研修「埼玉県ケアラー支援」	2人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配布、他（年6回）

#### ②須賀川地区協議体

目指す地域像：「声をかけあい みんなで協力して生活できる 須賀川にしよう」

月日		主な内容	参加人数
6月28日	第1回	地域課題の解決策	14人
9月27日	第2回	地域課題の解決策	11人
3月15日	第3回	小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果報告	11人

3月28日	研修	湯津上・黒羽地区協議体視察研修「埼玉県ケアラー支援」	2人
-------	----	----------------------------	----

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・班回覧、他（年6回）

### ○地区交流拠点の検討・実施

交流拠点活動では、サロンや地区公民館やほほえみセンター等に生活支援コーディネーター（SC）が出向き、地域の皆さんの相談ごとや、地域で気になること、地域で活躍している人など、地域の皆さんの声を聞いて情報を集め、地域の困りごとを、地域の人材や、良いところを生かして解決できるようにつないだり、内容によって、行政、市社協、地域包括支援センター等、専門機関につないだりしました。

### (2)安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」の一部を大田原市から受託しています。平成21度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや生活支援などを、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施しています。

本事業は、地域の見守り支援が必要な方の把握、地域ネットワークの形成、情報の共有を行ない、平成26年度には市内12地区での見守り隊（見守りの会）が発足し、全地区で事業を展開してきました。

令和5年度は、「生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）」や地区社会福祉協議会と連携して、住民主体の地域福祉を推進し、地域の課題解決力を高めるため内容の充実を図っています。昔ながらのご近所づきあいに加え、見守り活動を通じた地域のつながりづくりが行われています。

訪問での見守り、外からの見守りや電話での安否確認など、利用者が孤立しないように工夫をしながら活動をしています。

・見守り隊員数	2,468人	・見守り件数 〈内訳〉	77,468件 (件)
・利用者数 〈内訳〉	1,311人 (人)	1 声掛け安否確認	29,811
ひとり暮らし	707	2 買い物支援	575
高齢者世帯	279	3 緊急時の通報	21
日中ひとり	195	4 簡単な修繕	138
日中高齢者世帯	62	5 ゴミだし	779
その他	68	6 役所の手続き	303
		7 外からの見守り	43,126
		8 外出手伝い	250
		9 家事手伝い	623
		10 その他	1,842

① 各地区の状況

i) 黒羽見守り助け合い隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 22 年 3 月 16 日
自治会数	12 自治会
見守り利用者数	97 人
隊員数	94 人

【事業経過】

月 日	事業内容	参加人数
5 月 15 日	第 1 回茶話会	43 人
6 月 12 日	第 1 回隊長会議（活動報告、活動計画、利用者確認）	31 人
6 月 12 日	第 1 回推進会議 書面開催（活動報告、活動計画）	—
7 月 30 日	矢倉地区見守り隊防災訓練	20 人
9 月 12 日	地区社協・協議体合同研修会「防災講座」	46 人
10 月 22 日	くろばね秋まつり募金活動	8 人
11 月 8 日	買い物ツアー	25 人
11 月 20 日	第 2 回茶話会	44 人
12 月 18 日	黒羽小学校児童の年賀状を見守り利用者に郵送	139 人
2 月 19 日	第 3 回茶話会	49 人
3 月 5 日	第 2 回隊長会議（活動報告、決算、活動計画、予算）	22 人
毎月	お便りの発行配付	

ii) 佐久山おもいやり隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 23 年 2 月 8 日
自治会数	17 自治会
見守り利用者数	141 人
隊員数	118 人

【事業経過】

月 日	事業内容	参加人数
5 月 22 日	第 1 回推進会議（事業概要説明、隊員委嘱状交付、その他）	60 人
5 月 25 日	第 1 回推進会議（事業概要説明、隊員委嘱状交付、その他）	21 人
7 月 19 日	第 1 回隊長会議	31 人
7 月 25 日	おもいやりの会	26 人
8 月 22 日	隊員研修（救急救命法）	30 人
9 月 27 日	第 2 回隊長会議	24 人

11月19日	佐久山産業文化祭参加 バザー	—
12月7日	買い物ツアー	27人
2月21日	おもいやりの会	26人
3月27日	新旧隊長会議	45人

※おもいやりの会を実施（新型コロナ感染予防を考慮して実施した。）

### iii) 紫塚地区見守り隊

#### 【隊の概要】

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	77人
隊員数	67人

#### 【事業経過】

月 日	事業内容	参加人数
4月28日	新旧隊長会議（活動報告、活動計画）	19人
5月26日	推進会議（活動報告、活動計画、フリートーキング）	43人
7月9日	深川支え合いマップ作り役員説明会	11人
8月20日	深川支え合いマップ作り組長説明会	35人
8月20日	柴町にてDIGを実施	20人
9月2日～ 11月25日	深川支え合いマップづくり 深川自治会内の各組を数組ずつに分かれ計8回実施	90人(延)
9月22日	紫塚小学校ウォークラリーを協力	—
10月14日 ～15日	西地区文化祭に出展 (見守り隊と協議体の活動内容PR)	—
10月27日	隊長会議	15人
11月29日	渋川市豊秋地区視察受け入れ対応	30人
12月7日	隊員研修会（認知症サポーター養成講座）	23人
2月16日	チーム会議(活動報告・活動計画他)	8人
3月初旬～ 中旬	利用者宅訪問によるふれあい活動にて防災グッズ(LED ライト)と詐欺防止リーフレットの配付	—
3月22日	隊長会議(活動報告・活動計画他)	16人
年6回	お便りの発行配布	—

iv) ちかその思いやり隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 24 年 11 月 30 日
自治会数	10 自治会
見守り利用者数	94 人
隊員数	121 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4 月 24 日	第 1 回 チーム会議	8 人
5 月 8 日	第 1 回 隊長会議	22 人
5 月 26 日	認知症学習講座（参加型寸劇付）	38 人
6 月 27 日	デマンド交通体験	7 人
9 月 6 日	第 2 回チーム会議	6 人
9 月 13 日	第 2 回 隊長会議	17 人
10 月 24 日	事業「プチっと交流お出かけ買い物支援」	28 人
11 月 12 日	親園地区文化祭「思いやり隊バザー」	114 人
12 月 1 日	情報交換会	16 人
2 月 7 日	第 3 回 チーム会議	8 人
3 月 26 日	新旧隊長会議（隊長引継ぎ等）	31 人
年 4 回	お便りの発行配布	—

v) 西部地区あったか思いやりの会

【会の概要】

発足式年月日	平成 25 年 2 月 4 日
自治会数	8 自治会
見守り利用者数	187 人
会員数	117 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4 月 24 日	チーム会議・地区会長会議及び民生委員児童委員合同会議（令和 5 年度事業決定他）	29 人
5 月 11 日	推進会議	62 人
7 月 27 日	浅野地区茶話会	21 人
8 月 30 日	加治屋地区茶話会	30 人
10 月 14 日 ～15 日	西地区文化祭参加 （あったか思いやりの会PR）	—

10月29日	西部地区社協主催あったか広場参加 (あったか思いやりの会PR)	—
12月17日	原町地区茶話会	16人
1月15日	スマホ教室	7人
1月19日	スマホ教室	5人
年1回	お便りの発行配布	—

vi) 須賀川地区見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	91人
隊員数	100人

【事業経過】

月日	事業内容	参加人数
5月17日	第1回隊長会議(地区活動助成金、見守り組織の確認)	14人
5月17日	推進会議(事業報告、決算、事業計画・予算)	25人
7月26日	第2回隊長会議(各地区見守り状況報告、情報交換)	20人
10月26日	デマンド交通体験買物ツアー第1班	9人
11月2日	デマンド交通体験買物ツアー第2班	9人
11月9日	デマンド交通体験買物ツアー第3班	11人
11月16日	デマンド交通体験買物ツアー第4班	11人
11月21日	隊員研修会(救命講習会)	21人
12月3日	新そばまつりPR・募金活動	3人
3月15日	第3回隊長会議(活動報告、決算、事業計画、予算)	20人
年6回	お便りの発行配布	—

vii) ゆづかみ見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	116人
隊員数	226人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4月24日	第1回チーム会議(役員改選、事業報告及び決算報告、事業計画・収支予算)	4人
5月17日	第1回隊長会議(委嘱状交付、本隊役員、事業報告、事業計画、見守り活動記録、地区隊の活動助成金、令和5年度事業予定)	16人
7月12日	ふれあいお楽しみ会(高齢者招待事業:地区社協と共催)	40人
7月19日	第2回隊長会議 書面開催(中学生の高齢者訪問事業、天狗王国まつり参加について)	—
12月3日	天狗王国まつり(ゆづかみ見守り隊PR)	4人
3月13日	第3回隊長会議(見守り状況、事業報告、事業計画、隊員名簿等)	11人
4月3日~ 3月26日	ささえ愛サロン「言ノ葉喫茶」火曜日開催(33回)	延べ390人

viii) 東部地区見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	26自治会
見守り利用者数	105人
隊員数	588人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
5月17日	第1回チーム会議(令和5年度事業計画、予算案等の協議、大田原小ふくし共育について)	8人
5月25日	第1回隊長会議(役員改選、事業報告、事業計画、見守り事業並びに生活支援体制整備事業の推進等)	34人
9月21日	推進会議、見守り隊隊員研修 ・講話「見守り活動から地域づくりを考える」	44人
11月16日	認知症サポーター養成講座	28人
1月31日	第2回チーム会議(本年度の事業報告、次年度事業計画についての協議)	8人
2月22日	第2回隊長会議(本年度の事業報告、見守り事例検討)	38人
年3回	お便りの発行配布	—

## ix) 両郷地区見守り隊

## 【隊の概要】

発足式年月日	平成 26 年 6 月 25 日
自治会数	11 自治会 (9 地区隊)
見守り利用者数	74 人
隊員数	166 人

## 【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
5 月 23 日	隊長会議(事業計画、予算、見守り活動の確認等)	26 人
6 月 29 日	デマンド交通体験買物ツアー第 1 班	7 人
7 月 4 日	デマンド交通体験買物ツアー第 2 班	3 人
7 月 6 日	デマンド交通体験買物ツアー第 3 班	5 人
7 月 13 日	デマンド交通体験買物ツアー第 4 班	7 人
11 月 22 日	佐野市新合地区社協視察受入	32 人
2 月 27 日	隊長会議 (事業報告、決算、計画、予算)	39 人
2 月 27 日	隊員研修会 (防災講座)	39 人
4 月~3 月	居場所設置 (全 12 回)	—
年 6 回	お便りの発行配布	—

## x) 川西地区見守り隊

## 【隊の概要】

発足式年月日	平成 26 年 11 月 19 日
自治会数	14 自治会 (17 地区隊)
見守り利用者数	110 人
隊員数	256 人

## 【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4 月 15 日	桧木沢自治会安心生活見守り事業説明会	26 人
6 月 23 日	第 1 回隊長会議 (研修会、令和 5 年度事業計画)	37 人
7 月 2 日	宇都宮市城山地区社協・山形県白鷹町なないろの会視察受入	42 人
12 月 17 日	桧木沢直売所ふれあい祭り PR 募金活動	3 人
1 月 28 日	黒羽大花市 PR 募金活動	3 人
3 月 8 日	第 2 回隊長会議 (事業報告、事業計画)	37 人

4月～7月	県事業「つながますプロジェクト」	400人
4月～3月	桜木沢よつばカフェ（11回）篠原カフェ（10回）	537人
4月～3月	おやまだいおひさまカフェ（15回）	258人
4月～3月	移動カフェ「おひさま」（10回）	63人
11月～1月	おやまだいおひさまカフェ&かをるコラボ企画（3回）	127人
12月～3月	黒羽町青年団OBOG会	65人
その他 集いの場	築地カフェ、上町 PPKK の会、上町たんぽぽ会、下町2区カフェ、寒井本郷カフェ、桜木沢サイプレス地区カフェ、大豆田カフェ、余瀬カフェ、上町より愛ひろば、ジャガイモ仲間の会、わらぼっち多賀	—
毎月	お便りの発行配布	—

xi) 金田地区おもいやり隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 26 年 11 月 28 日
自治会数	26 自治会（32 地区隊）
見守り利用者数	105 人
隊員数	376 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4月13日	チーム会議	10人
4月18日	新隊長会議	42人
5月23日	推進会議 研修会「地域包括支援センターについて」	54人
10月17日	認知症サポーター養成講座（金田南地区）	25人
10月25日	認知症サポーター養成講座（金田北地区）	40人
11月11日	金田地区文化祭（PR活動）	125人
3月5日	チーム会議	11人
3月14日	隊長会議	34人
年3回	お便りの発行配布	—

xii) 野崎地区見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 27 年 2 月 19 日
自治会数	11 自治会
見守り利用者数	114 人

隊員数	239人
-----	------

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4月8日	のざき桜祭りに合わせ見守りPR活動	130人
5月18日	チーム&隊長会議（事業計画説明、他）	19人
7月26日	チーム&隊長会議（見守り意見交換）	15人
10月29日	野崎文化祭PR活動（ブースへの参加者）	230人
1月25日	チーム&隊長会議（新年度計画、他）	18人
12月～1月	野崎中福祉体験活動受け入れ協力	—
4月～3月	個別訪問（見守り利用者、隊員、他）	202世帯
4月～3月	相談対応（見守り利用者、隊員、他）	124件
4月～3月	居場所活動（野崎NT・上薄葉、他）	419人
3月～4月	地区別見守り活動事前説明会開催	96人
年2回	お便りの発行配布	—

※見守り隊だよりの発行・全戸配付（年2回）

② 安心生活見守り事業 会議等

月 日	内 容	会 場
2月13日	安心生活見守り事業推進会議	市役所101、102会議室

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では令和2年度に市高齢者幸福課と覚書を交わし、市社協窓口での申請受付並びに、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行ないました。

令和5年度配布本数 96本

4 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンター推進事業

① ふくしボランティア講座

地域で暮らす子どもや家族、生きづらさを感じている人々の状況を知り、地域住民が個人として、地域として、どのようなことができるのかを話し合い、これからの活動のヒントを得ると同時に、すでに地域内で実践している団体や機関とのつながりづくりを目的に開催しました。

日 時：12月13日(水)午前9時30分～12時

場 所：市生涯学習センター研修室D

参加者：ボランティア活動に興味や関心のある方 34 人 職員 8 人 全 42 人

内 容：テーマ：できることからはじめよう ～私たちの地育～

地域で子どもを育む

講 話：①「子どもたちを取り巻く現状」

講師 スクールソーシャルワーカー 馬籠 清貴 氏

②「居場所から始まる子どもたちへの支援」

講師 子どもの居場所スマイルハウス 安井 将太 氏

お話タイム：グループでできること・やってみたいことを書き出そう

## ②中高生が考える福祉のまちづくり I N大田原

感受性豊かな中高生が、大田原市の現状や福祉の未来を考え、あらゆる人が安心安全に暮らすことができる福祉のまちづくりの方法などについて学ぶことで、これからの地域を担っていく一人となれるよう、地域の多様な方々に実行委員となっていただき進めました。

令和5年度は、コロナによって地域とのつながりが制限されていた中高生が多様な地域の方と共に活動し、意見交換をする中で、自分たちも地域づくりに携わる一人であることを感じながら、「お互いを認め合う」ことが地域共生に大切なのであるということに気付き、地域に住む誰もが笑顔あふれる地域になるためには、何が必要なのか、地域をどう変えていかなければならないのか、自分たちに何が出来るのかを考えることを目的に実施しました。

日 時：8月21日（月）午後1時～午後4時

場 所：トコトコ大田原3階 大会議室

参加者：中高生10人、地区社協関係者6人、国際医療福祉大学実習生3人

内 容：テーマ みんなで話し合ったら、新たな大田原につながった件  
～笑顔いっぱいの共生社会のまちづくりワークショップ～

講話：「ともに生きるまちづくりを考えるために」

講師：国際医療福祉大学医療福祉学部

医療福祉・マネジメント学科 准教授 大石 剛史 氏

グループワーク①「みんなのこんな町にしたいを形にしよう」

グループワーク②「みんなが楽しめる、幸せになれる工夫を考えよう」

## ③ボランティアサロン

ボランティア活動に興味のある方を対象に、地域とボランティアのつながりづくりやグループ活動の交流を図ることを目的に、気軽につどい、仲間づくり、情報交換のできる場として開催しました。

日 時：2月28日(水)午前10時～12時

場 所：市役所A別館2階会議室

参加者：ボランティア活動に興味や関心のある方11人 職員3人 全14人

内 容：テーマ：ボランティアサロン ～しゃべり場(BAR)～

教えてタイム ボランティア活動に関する「質問カード」を作成してみ  
なで答える。

おしゃべりタイム 参加者同士で自由におしゃべり

#### ④市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動への連携・協力を行ないま  
した。

#### ⑤ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
基本プラン	350 円	1, 040 万円	4, 534 人	4, 225 人
天災・地震 補償プラン	500 円	1, 040 万円	164 人	106 人
特定感染症 重点プラン	550 円	1, 040 万円	10 人	49 人
計			4, 708 人	4, 380 人

#### ⑥ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア  
情報の提供、各福祉施設のボランティア要請の情報提供等を行いました。ボランティ  
アに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の  
橋渡し（ボランティアコーディネート）を行いました。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア相談・ コーディネート(再掲)
	団体数	登録者数		
令和5年度	134 団体	4, 892 人	33 人	63 件(31 件)

#### ⑦ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、  
小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めました。

品 目	延べ利用数	品 目	延べ利用数
車いす	5 台	プロジェクター	1 台

アイマスク	15 枚	移動式スクリーン	0 脚
点字盤	9 台	書籍等	30 冊
点字プリンター	0 台	ハンドマイク	3 本
杖 (T字型) / 白杖	9 本	誘導棒	23 本
CDプレイヤー	0 台	その他(テント・釜セットなど)	30 件

## (2)災害にも強い地域づくり推進事業

### ①災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時に被災者の支援として開設される災害ボランティアセンターが迅速かつ円滑に開設できるように、日頃から関係団体・機関等のつながりづくりを進めるため、平時の活動として開催しました。

実施日： 8月8日（火）午後3時～4時30分

会場： 市役所102会議室

協議内容：

- (1) 令和4年度台風15号における活動事例
- (2) 災害ボランティアに関する全国的動向
- (3) グループワーク 各団体に係る平時と発災時の活動内容の共有

参加団体 民生委員児童委員協議会連合会、ボランティア連絡協議会、那須野ヶ原青年会議所、市（福祉課、危機管理課）、市社会福祉協議会

## 5 福祉教育（ふくし共育）推進事業

### (1)福祉教育（ふくし共育）推進事業

福祉とは「ふだんのくらしのしあわせのためのもの」であり、自分を含めたみんなにかかわることである。子どもから高齢の方まで、助け合いながら地域でつながりをもって暮らしていけるように、ともに生きる地域を創っていくことを目指し福祉教育（ふくし共育）を推進しました。

#### ①福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

令和4年度に第7回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（535部）、4年生（572部）、及び中学1年生（595部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めました。

#### ②学校等の福祉教育（ふくし共育）への支援

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進するため、「学校と地域がつながる福祉教育プログラム」への取り組みを支援しました。

小・中学校等での福祉教育の現場へ、地区社会福祉協議会、地区見守り隊（会）をはじめ、障がい当事者の方や社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援

しました。

また、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行ないました。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行ないました。その他児童・生徒の相談に応じました。

【学校等への福祉教育支援状況一覧】

	実施日	学校名	対象学年(年)	参加者数(人)	協力人数(人)	内容
1	6月6日	蛭田小学校	4	11	2	地域で活動する方のお話を聞こう
2	6月14日	西原小学校	5	116	2	～自分の町を良くするしくみ ～赤い羽根共同募金
3	6月24日	薄葉小学校	4	46	6	認知症にやさしい地域を考えよう
4	6月28日	野崎中学校	1	37	5	地域で活動する方のお話を聞こう
5	7月4日	佐良土小学校	4	4	2	障がい当事者の方と学ぼう
6	7月6日	黒羽小学校	4,5	41	2	障がい当事者の方と学ぼう
7	8月31日	金丸小学校	5	17	4	認知症にやさしい地域を考えよう
8	9月5日	親園小学校	4	22	4	災害と助け合い ～避難所運営ゲーム～HUG
9	9月11日	羽田小学校	4	115	2	地域で活動する方のお話を聞こう
10	9月20日	市野沢小学校	4	43	6	障がい当事者の方と学ぼう
11	9月21日	佐久山小学校	4	17	4	認知症にやさしい地域を考えよう
12	10月8日	大田原小学校	4	116	1	福祉まつり（地区社会福祉協議会）
13	11月1日	紫塚小学校	5	71	6	災害と助け合い ～避難所運営ゲーム～HUG
14	11月6日	両郷中央小学校	4	9	2	認知症にやさしい地域を考えよう
15	12月8日	親園中学校	3	52	6	地域で活動する方のお話を聞こう
16	2月7日	宇田川小学校	4	9	3	災害と助け合い ～避難所運営ゲーム～HUG
合計				726	56	

### ③大田原ふくし共育ボランティア「グループささえ」支援

「グループささえ」は、大田原市内のふくし共育（福祉教育）を支援する団体として、ふくし共育のねらいである、みんなで支え合える地域づくりのために、地域福祉を進めるとともに、地域活動に子どもを巻き込んで、ともに取り組み、ともに学ぶことをみんなで考えて、みんなで進めることを目的として活動しています。

社協として、偶数月に1回行われる定例会に出席し、ふくし共育支援への協力依頼や、各種研修の案内などを行い、「グループささえ」の活動支援を行いました。

日 程	内 容	出席人数
4月4日	第10回定期総会	13人
6月6日	ふくし共育の実施見通しについて	8人
8月1日	ふくし共育報告、HUGを体験してみよう	7人
10月3日	ふくし共育報告、ともに生きるを読む①	7人
12月5日	ふくし共育報告、ともに生きるを読む②	7人
2月6日	ふくし共育報告、ともに生きるを読む③	8人

## (2)広報充実事業

### ①機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」を発行、裏表紙をボランティア情報紙「だいすき」として併せて発行しました。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の活動内容の紹介、及び地域のみなさんに考えていただく地域の課題等の周知等、紙面の充実に努めました。（年4回市内全戸配布）

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、また、地域でのつながりの大切さを学び、気づきのきっかけになるような紙面を心掛けて作成、児童・生徒に配布しました。（10月に小・中学校を通じて配布）

### ②ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ（URL：<https://ohtawara-shakyo.or.jp/>）により、本会の活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報しています。

### (3)社会福祉士養成課程等実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程等実習生を受け入れました。実習生への指導やアドバイスを行うことで、社協職員のOJT<sup>1</sup>等資質の向上や社協の評価にもつながりました。

- ① 国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科 4人  
8月7日～9月13日(24日間)
- ② 国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科 4年生 1人  
医療福祉実習 6月15日～7月20日(うち12日間)
- ③ 那須看護専門学校 13人  
「地域包括ケアシステムでの看護師の役割について学ぶ」  
11月2日、11月6日(2日間)

## 6 社会福祉法人の地域活動貢献支援

### (1)社会福祉法人連絡会の活動支援

平成30年10月から大田原市内の14社会福祉法人の参加で、法人本来の事業に加えて、地域のための公益活動を進めています。

#### ○社会福祉法人連絡会の主な活動内容

- ①設備、備品の貸出  
法人の施設設備、備品を活用するため、地域の皆様に貸し出します。
- ②地域出前講座講師派遣  
法人の職員が、地域の講座や研修に出向きます。
- ③ふくし総合相談  
法人の業務範囲に留まらず、地域の皆様からの相談に幅広く対応します。
- ④広報活動  
活用サポートガイドの発行
- ⑤生活支援体制整備事業  
第2層協議体委員として、市内12地区の協議体へ参加しています。

#### ○社会福祉法人連絡会の参加法人

- (福) あいのかわ福祉会(那須共育学園 他)  
(福) 安寧<sup>あんねい</sup>(山百合荘 他)

<sup>1</sup> OJT : **On-the-Job Training** (オン・ザ・ジョブ・トレーニング) または現任訓練(げんにんくんれん)とは、職場で実務をさせることで行う従業員の職業教育のこと。

- (福) エルム福祉会 (エルムの園、SELPみなと、ヒカリノカフェ 他)
- (福) <sup>けんしんかい</sup>謙心会 (にちにちそう 他)
- (福) <sup>ここみかい</sup>心美会 (保育園 ベビーエンゼル)
- (福) <sup>しせいかい</sup>至誠会 (晴風園、みどりの郷)
- (福) <sup>せんこまかい</sup>千駒会 (おおたわら保育園)
- (福) <sup>しょうゆうかい</sup>章佑会 (やすらぎの里、若草園 他)
- (福) ひかり会 (ひかりのぎき保育園、ひかりうすば保育園)
- (福) フレンズ会 (保育園チャイルド)
- (福) <sup>ほうゆうかい</sup>邦友会 (風花苑 他)
- (福) <sup>まどひ</sup>窓の陽 (ふるさとホーム那須、那須愛恵苑 他)
- (福) <sup>どうあいかい</sup>同愛会 (四季の風、かねだの里 他)
- (福) 大田原市社会福祉協議会

## 7 福祉活動顕彰事業

### (1)大田原市社会福祉協議会会長表彰

第26回大田原市福祉ふれあいまつり 10月21日(土)

新垣 稔(福祉委員)、藤田 弘子(福祉委員)、中澤 あつ子(福祉委員)  
後藤 秀雄(ボランティア)

### (2)その他の表彰

#### ○全国社会福祉協議会会長表彰

全国社会福祉大会 11月15日(水)

永年勤続功労

(福)大田原市社協 阿久津 久香

#### ○栃木県知事表彰

第29回栃木県民福祉のつどい 8月29日(火)

ボランティア功労

大田原東部地区社会福祉協議会、紫塚地区社会福祉協議会  
共同募金運動協力団体又は協力者

福島 初夫、小池 清一

#### ○栃木県社会福祉協議会会長表彰

第29回栃木県民福祉のつどい 8月29日(火)

社会福祉法人・社会福祉施設・社会福祉団体関係功労者

(福)至誠会 特別養護老人ホーム晴風園(地域密着型) 澤村 由香

(福)大田原市社協 小滝 典  
 優良施設、団体等表彰  
 調理ボランティア  
 日常生活自立支援事業功労者  
 藤田 里子、渡辺 秀子

○栃木県共同募金会会長表彰

第29回栃木県民福祉のつどい 8月29日(火)

野田 力、伊藤 文彦、石井 良幸、渡邊 教道、古森 孝雄、道下 勝美、  
 瀧川 昌之、植木 武、滝田 稔、滝田 政美、増田 幸一、吉成 信一、  
 小野崎 隆、笠井 正佳、中村 新一、中村 孝、佐藤 輝治、小田倉 明夫

II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 総合相談事業の実施

(1)心配ごと相談事業

大田原市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行ないました。市民の日常生活上の心配ごとの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、市役所A別館及び社協各支所内に相談所を開設しました。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けました。

【心配ごと相談開催日】

地区	相談日	時間	場所
大田原	毎週金曜日	9:00～12:00	市役所A別館
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター
黒羽	毎月第3木曜日	9:00～12:00	社協黒羽支所

【心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数15件）相談者15人】

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	1	職業・生業・就職		家族	8	健康衛生		医療		人権・法律	
年金		住宅		結婚		離婚		事故		財産	1
精神衛生	3	児童福祉		教育・青少年		心身障害		老人福祉	1	母子福祉	
その他	1	苦情									

(2)福祉金庫貸付事業

大田原市社会福祉協議会福祉金庫資金貸付事業実施要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っています。善意銀行の拠出金を原資に、1借受人あたり2万円又は3万円を限度に貸し付けをする制度として実施しています。

○貸付・償還状況

前年度未残額A		1,183,601円	前年度償還未済額 776,000円
令和5年度	貸付金額B	1,195,000円	新規貸付件数 59件
	償還金額C	983,000円	償還完了件数 52件
	不納欠損額D	0円	不納欠損件数 0件
	預金利子E	10円	預金利子
	地域福祉事業へ振替F	0円	
	残高G	971,611円	年度繰越 (A - B + C + E - F)

※年度末貸付償還未済額は 988,000円

(3)生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行ないました。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類です。低所得者世帯、失業者、障がい者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施しました。

○貸付・償還状況

貸付	新規貸付 2件	教育支援資金 2件
償還	償還中 31件	総合支援資金 5件 福祉資金(福祉費) 2件 緊急小口資金 8件 教育支援資金10件 離職者支援資金 1件 臨時特例つなぎ資金 1件 緊急小口資金(台風特例) 1件 療養介護等資金 1件 福祉資金(障害者自動車購入費) 2件
	償還完了 2件	教育支援資金 1件 福祉資金(障害者自動車購入費) 1件
	償還不能 1件	緊急小口資金1件(借受人死亡による)
	償還免除 0件	

○生活福祉資金フォローアップ事業

新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により収入の減少があった世帯を対象とした生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付(令和4年9月末日終了)をした世

帯に対して、アンケート送付や電話により、その後の生活状況を伺い、生活に困っている世帯には、償還返済を遅らせる償還猶予申請や生活困窮者自立支援事業（住宅確保給付金、生活保護の申請、ハローワークへ連絡など）につなぎました。

### ○貸付・償還状況

No.	資金名	貸付 件数	貸付総額	償還中	償還 猶予中	償還 免除数	償還免除額
1	緊急小口資金	639	111,920,000	410	23	206	54,650,155
2	総合支援資金 (初回)	354	288,870,000	410	18	165	88,178,040
3	総合支援資金 (延長)	104					
4	総合支援資金 (再貸付)	135					
合 計		1,232	400,790,000	820	41	371	142,828,195

○相談件数 相談、アンケート発送、状況調査確認 など 延べ 995 件

## 2 生活困窮者自立支援事業

### (1)生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を大田原市から受託し、経済的かつ社会的孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組みました。

○相談件数（※令和5年度に新たに受付をした件数）

No.	相談内容	件数	No.	相談内容	件数
1	病気や健康、障がいのこと	3 件	9	地域との関係について	0 件
2	住まいのこと	3 件	10	家族関係・人間関係	0 件
3	収入・生活費のこと	53 件	11	子育て・介護のこと	0 件
4	家賃やローンのこと	4 件	12	ひきこもり・不登校	1 件
5	税金や公共料金のこと	3 件	13	DV・虐待	0 件
6	債務について	3 件	14	食べる物が無い	6 件
7	仕事探し、就職について	2 件	15	その他	3 件
8	仕事上の不安やトラブル	0 件		計	81 件

○支援実施延べ回数※令和6年3月末現在

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	51回
2	訪問同行・支援	31回
3	面談	78回
4	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	2回
5	他機関との電話照会・協議	9回
6	その他	2回

3 日常生活自立支援事業（あすてらす）

(1)日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助や金銭管理支援、書類等預かりを行う日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施しました。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めました。

○あすてらす利用状況

令和5年度	利用者数	備 考
年度当初	75人	
新規契約	7人	高齢2人、知的障害3人、精神障害2人
解約	10人	高齢7人、知的障害2人、精神障害1人 (死亡4人、施設管理3人、本人管理2人、後見人管理1人)
令和5年度末	72人	

- ・ 専門員3人
- ・ 生活支援員 22人（社協職員9人含む）
- ・ 主な支援内容

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）、相談

(2)法人後見事業実施に向けた取り組み

日常生活自立支援事業（あすてらす）の利用者の中に、加齢等により判断能力が低下し成年後見事業への移行が必要になる方もいることから、利用者への継続的な支援を続けること、また、地域内の後見人等候補者が不足していることもあり、法人後見事業に取り組む準備を進めました。

- 法人後見事業先進社協への視察
- 成年後見制度に関する情報の収集
- 成年後見事業、法人後見事業に関する研修会参加

### Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

#### 1 介護保険サービス

##### (1)訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた利用者にホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。また、市の介護予防日常生活支援総合事業の訪問型サービス事業を実施しました。

	令和5年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	16,599,990円	15,955,335円	104.0%
年間延べ利用者数	743人	699人	106.3%
月平均利用者数	61.9人	58.3人	106.2%
ホームヘルパー数	14人	15人	93.3%

##### (2)受託訪問介護事業の推進

①介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を大田原市から受託しましたが、利用者はいませんでした。

	令和5年度実績	令和4年度実績	前年度実績
年間報酬額	0円	0円	0円
年間延べ利用者数	0人	0人	0人
月平均利用者数	0人	0人	0人

②妊娠中または出産後の養育不安や孤立感を抱える養育世帯に対しホームヘルパーを派遣する「養育支援ヘルパー派遣事業」を大田原市から受託し、養育支援を実施しました。(令和5年度新規)

	令和5年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	82,500円	—	—
年間延べ利用者数	4人	—	—
月平均利用者数	0.3人	—	—

#### 2 障害福祉サービス

##### (1)障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣しました。

##### ○障害福祉サービス（居宅介護）

	令和5年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	11,258,507円	11,815,517円	95.3%
年間延べ利用者数	254人	274人	92.7%
月平均利用者数	21.2人	22.8人	93.0%

### ○同行援護サービス

	令和5年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	651,260円	847,496円	76.8%
年間延べ利用者数	46人	52人	88.5%
月平均利用者数	3.8人	4.3人	88.4%

### ○移動支援

	令和5年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	183,950円	232,700円	79.1%
年間延べ利用者数	10人	11人	90.9%
月平均利用者数	0.8人	0.9人	88.9%

## 3 その他のサービス

### (1)日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、車椅子などを無償貸与しました。

#### ○車いす貸与状況

	貸出件数	保有台数
本所	82件	32台
湯湯津上支所	4件	3台
黒羽支所	29件	13台
計	115件	48台

### (2)リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共交通機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸出を行ないました。

リフト付き自動車貸出件数 88件

### (3)軽トラック貸出事業

ボランティア活動・生活困窮者支援、その他地域福祉活動をする時に、物資輸送の援助として軽トラックの貸出を行ないました。

軽トラック貸出件数 5件

### (4)福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図りました。また3人の委員による第三者委員会を設置しています。

#### IV 法人の基盤強化事業

##### 1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

###### (1)理事会・評議員会の開催

###### ①理事会

###### 【第1回理事会】

○開催日時：5月29日（月）

○会場：市役所301・302会議室

###### 報告

報告第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について

報告第2号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第3号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予（第3号）について（専決事項）

###### 議案

議案第1号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第2号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について  
＝監査報告＝

議案第3号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰について

議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について

議案第5号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第1回評議員会の開催について

議案第6号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について

議案第7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

議案第8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員候補者の確認について

###### 【第2回理事会】

○開催日時：6月27日（火）

○会場：市総合文化会館1階会議室

###### 報告

報告第4号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

###### 議案

議案第 9 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長、副会長、常務理事の選任について

【第 3 回理事会】

○開催日時： 12 月 8 日（金）

○会 場：市役所 301・302 会議室

報 告

報告第 6 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の務執状況報告について

報告第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規定の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 9 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の改正について（専決事項）

報告第 10 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の改正について（専決事項）

報告第 11 号 大田原市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 12 号 大田原市社会福祉協議会第一号訪問事業運営規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

議 案

議案第 10 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 11 号 大田原市社会福祉協議会職員懲戒審議会規則の制定について

議案第 12 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会複写機利用要綱の制定について

議案第 13 号 大田原市社会福祉協議会地区社会福祉協議会活動助成金交付要綱の制定について

議案第 14 号 令和 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行配分払い出しの実施について

議案第 15 号 令和 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 2 回評議員会の開催について

【第 4 回理事会】

○開催日時： 3 月 11 日（月）

○会 場：市役所 301・302 会議室

報 告

報告第 13 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 14 号 令和 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）について（専決事項）

報告第 15 号 令和 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行指定預託の払出について（専決事項）

#### 議 案

議案第 16 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 17 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 18 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 19 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第 20 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第 21 号 令和 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 3 回評議員会の開催について

#### ②評議員会

##### 【第 1 回評議員会】

○開催日時： 6 月 13 日（火）

○会 場：市役所 301・302 会議室

#### 報 告

報告第 1 号 決議に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 2 号 令和 4 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 3 号）について（専決事項）

報告第 3 号 令和 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰について

#### 議 案

議案第 1 号 令和 4 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第 2 号 令和 4 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について  
＝監査報告＝

議案第 3 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について

##### 【第 2 回評議員会】

○開催日時： 12 月 26 日（火）

○会 場：市役所南別館 2 階会議室

## 報 告

報告第 4 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規定の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の改正について（専決事項）

報告第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の改正について（専決事項）

報告第 9 号 大田原市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 10 号 大田原市社会福祉協議会第一号訪問事業運営規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

## 議 案

議案第 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 6 号 大田原市社会福祉協議会職員懲戒審議会規則の制定について

議案第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会複写機利用要綱の制定について

議案第 8 号 大田原市社会福祉協議会地区社会福祉協議会活動助成金交付要綱の制定について

議案第 9 号 令和 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行配分払い出しの実施について

議案第 10 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会理事の選任について

### 【第 3 回評議員会】

○開催日時： 3 月 19 日（火）

○会 場：市役所 301、302 会議室

## 報 告

報告第 11 号 決議事項に関わる利害関係の報告について

報告第 12 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）について（専決事項）

報告第 13 号 令和 5 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行指定預託の払出について（専決事項）

## 議 案

議案第 11 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 12 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の一部を改正す

る規程の制定について

議案第 13 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 14 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第 15 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第 16 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員を選任について

## (2) 会員加入の促進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めました。

### ○ 会員加入の状況

会費の種類	会費 1 口	会員数	会費納入額	前年比	前年
普通会员	500 円	15,322 件	7,661,300 円	98.4%	7,787,140 円
特別会費	1,000 円	573 件	942,000 円	94.8%	994,000 円
賛助会費	5,000 円	32 施設	160,000 円	123.1%	130,000 円
計			8,763,300 円	98.3%	8,911,140 円

## 2 基金・寄付事業

### (1) 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めました。

### ○ 預託の状況

#### ① 金銭預託

金 銭 預 託	収 入 の 部	科目	金額	預託者（敬称略）
		前年度繰越金	3,833,538 円	
		預託金額	120,000 円	匿名（困窮している子どもへの指定預託）
		預金利息	38 円	
	合計	3,953,576 円		
支 出 の 部	科目	金額	配分先	
	配分金額	86,000 円	市ボランティア連絡協議会	
		27,000 円	大田原市いきいきクラブ	
		27,000 円	市障がい児者等保護者会	
		120,000 円	とちぎボランティアネットワーク	

	合計	260,000 円	
	収入支出差引残高	3,693,576 円	

## ②物品預託

	寄付者氏名（敬称略）	預託物品		用途
1	株式会社 広築 那須工場	タオル 水	70 本 48 本	生活困窮世帯へ配布
2	株式会社 エツリン	液晶テレビ	1 台	生活困窮世帯へ配布
3	連合栃木那須地域協議会	タオル	100 枚	福祉施設、保育園等へ配布
4	ライオンズクラブ国際協会 333-B 地区 4R2Z	食料品		生活困窮世帯へ配布
5	株式会社ダイナム	食料品		生活困窮世帯へ配布
6	株式会社 広築 那須工場	食料品		生活困窮世帯へ配布
7	ライオンズクラブ国際協会 333-B 地区 4R2Z	食料品		生活困窮世帯へ配布
8	石沢 希久子	紙おむつ 尿取りパット	3 袋 2 袋	社協黒羽支所にて保管 （事業係で使用）
9	白河小峰ライオンズクラブ	米	6 俵	生活困窮世帯へ配布
10	大田原ライオンズクラブ	米	6 俵	生活困窮世帯へ配布
11	株式会社 エツリン	自転車	1 台	生活困窮世帯へ配布
12	野田新聞店(有) ノダネットワークサービス	車いす	1 台	貸出用として使用
13	匿名	学校用品		市野沢小学校 金田北中学校
14	ライオンズクラブ国際協会 333-B 地区 4R2Z	食料品		生活困窮世帯へ配布
15	公益社団法人 大田原法人会女性部	タオル	619 枚	福祉施設、保育園等へ配布
16	株式会社 ダイナム	食料品		生活困窮世帯へ配布

## (2)地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」を設け、寄附、利息等による基金の運用を行っています。

○基金運用状況

科目	金額	摘要	
前年度末基金原資残高 ①	177,472,799 円		
令和5年度 寄付金額 ②	152,240 円	三水会	42,240 円
		REITO CUP	100,000 円
		西那須野基督協会	10,000 円
預金利息 等 ③	637,854 円	国債、公債利息	633,000 円
		定期預金利息	4,813 円
		普通預金利息	41 円
区分間繰入金支出 ④	4,637,958 円	令和5年度原資取崩額	4,000,104 円
		預金利息分繰出	637,854 円
本年度末基金原資残高 ①+②+③-④	173,624,935 円		

(3)大田原市社会福祉協議会寄附

大田原市の地域福祉推進のため、市民等から寄せられた寄付を事業費として適正に運用しました。

No.	寄付者氏名 (敬称略)	寄付金額	令和5年度累計
1	匿名	1,000 円	1,000 円
2	匿名	10,000 円	11,000 円
3	大田原市建設業協同組合	20,000 円	31,000 円
4	大田原市グラウンド・ゴルフ協会	60,800 円	91,800 円
5	連合栃木那須地域協議会	15,000 円	106,800 円
6	栃木県大衆音楽家協会県北支部	20,000 円	126,800 円
7	匿名	2,000 円	128,800 円
8	匿名	10,000 円	138,800 円
9	辰巳会 磯 昇	108,487 円	247,287 円
10	匿名	10,000 円	257,287 円
11	匿名	1,000 円	258,287 円
12	匿名	20,000 円	278,287 円
13	匿名	20,000 円	298,287 円
14	国際ソロプチミスト那須	50,000 円	348,287 円
15	IUHW SHM 1年有志	5,450 円	353,737 円

16	黒羽商工会女性部	9,181円	362,918円
17	新泉 洋子	20,000円	382,918円
18	栃木県大衆音楽家協会県北支部	20,000円	402,918円
19	大田原市くらしの会 菊池恵子	2,000円	404,918円
20	宇都宮ヤクルト大田原センター	68,000円	472,918円
21	大田原文化協会ステージ部市民芸能大会	11,500円	484,418円
22	匿名	1,000円	485,418円
23	那須スポーツ・クラブ・グラウンド・ゴルフホールインワン基金	130,000円	615,418円
24	西那須野幼稚園	15,000円	630,418円
25	セカンドストローク	121,500円	751,918円
26	スターライト友の会	20,486円	772,404円
27	匿名	10,000円	782,404円
28	匿名	1,000円	783,404円
29	黒羽商工会青年部	60,000円	843,404円
30	カラオケスタジオーちゃん	20,000円	863,404円
31	匿名	1,000円	864,404円

### 3 栃木県共同募金会大田原市支会

#### (1)赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行ないました。8月28日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議しました。

#### ○共同募金実績一覧 (単位：円)

募金種別	件数	募金実績額	目標額	差引額	達成率
戸別募金	15,652件	5,478,260円	5,449,000円	29,260円	100.5%
特別募金	1,096件	2,816,155円	2,680,000円	136,155円	105.1%
学校募金	43件	380,866円	464,000円	-83,134円	82.1%
街頭募金	21件	270,060円	220,000円	50,060円	122.8%
職域募金	62件	463,233円	550,000円	-86,767円	84.2%
イベント募金等	45件	381,199円	267,000円	114,199円	142.8%
合計	16,919件	9,789,773円	9,630,000円	159,773円	101.7%

令和5年度募金からの配分：令和6年度の配分予定は6,434,773円

#### ○共同募金配分金事業

令和5年度は実績に応じて、県共同募金会からB募金配分6,708,684円が大田原市社協に配分されました。

○「おたわらを良くするしくみ」応援成事業

共同募金の助成を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の新たな課題を発見し、問題解決をしようとしている福祉活動を応援すること、また、助成による活動の成果を発信することで、共同募金の使いみちの透明性を図り、共同募金への理解を深めることを目的として実施しました。

【審査委員会】

1月30日（火）審査会を実施しました。

○助成対象（助成は令和6年度に実施します。）

No.	団体名	申請事業	申請金額
1	加治屋元気クラブ	輪投げ・卓球・健康麻雀	50,000円
2	カラオケ会	高齢者のための『居場所活動』	50,000円
3	野崎ニュータウンふれあい・ミニサロン	ふれあい・ミニサロン	50,000円
4	PPKKの会	高齢者の居場所活動	50,000円
5	ジャガイモ仲間の会	ジャガイモ仲間の会	50,000円
6	薄葉団地お茶ラカ会	薄葉団地お茶ラカ会	50,000円
7	より愛ひろば	ささえあいサロン活動	50,000円
8	言ノ葉喫茶	居場所づくり活動	50,000円
9	築地カフェ	築地カフェ	50,000円
合 計			450,000円

○令和5年度に事業に取り組んだ団体

No.	団体名	申請事業	助成金額
1	加治屋元気クラブ	地域の居場所づくり	50,000円
2	カラオケ会	高齢者のための『居場所活動』	50,000円
3	野崎ニュータウンふれあい・ミニサロン	ふれあい・ミニサロン	50,000円
4	PPKKの会	高齢者の居場所活動	50,000円
5	ジャガイモ仲間の会	野菜直売	50,000円
6	薄葉団地お茶ラカ会	薄葉団地お茶ラカ会	50,000円
7	より愛ひろば	ささえあいサロン活動	50,000円
8	言ノ葉喫茶	居場所づくり活動	50,000円
9	寿会	施設訪問、地域催し物ボランティア	35,000円
10	おひさまの会	佐良土小学校での読み聞かせ活動、行事参加	50,000円
合 計			485,000円

#### 4 経営理念の施策の推進について

##### ～基本施策:総合相談体制の充実～

包括的な相談支援体制を構築していくために、職員の意識変革を図り、支所・係を超えた連携・情報共有・相談体制を目指して職員の勉強会を開催した。

##### 第1回総合相談全体研修

- 日 時 7月31日(月) 午後6時～午後8時  
場 所 市生涯学習センター研修室D  
参加者 社協職員・実習生 計17人  
内 容 ①講話：包括的な支援体制の構築に向けた相談体制について  
国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科講師 高石 麗理湖先生  
②事例検討

##### 社協内事例検討会①

- 日 時 9月19日(月) 午前10時05分～午前11時10分  
場 所 市社会福祉協議会 本所 共有スペース  
参加者 社協職員・実習生 計8人  
内 容 事例検討

##### 社協内事例検討会②

- 日 時 11月30日(木) 午前10時～午前11時35分  
場 所 市社会福祉協議会 本所共有スペース  
参加者 社協職員 計9人  
内 容 事例検討会

##### 第2回総合相談全体研修

- 1 日 時 1月24日(木) 午後6時～午後8時  
2 場 所 市社会福祉協議会 本所  
3 参加者 社協職員 計22人  
4 内 容 ①事例検討の振り返り・助言  
国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科講師 高石 麗理湖先生  
②事例の再検討

##### ～基本施策:SNSの活用～

3月 若い世代や自治会未加入世帯への情報発信となるように公式X(旧Twitter)を各係に設定し、運用準備を開始した。

#### 5 その他

- (1)佐良土多目的交流センターの管理
- (2)印刷機利用サービス事業